

1

1 a

総計

b

気候

c

新参

2 A

イ

B

キ

C

ア

3

I ウ

II

エ

III

ア

4

体

の外

側

(完答)

5

人間

与え

6

腸内細菌

7

ア

(完答)

8

肥満

9

免疫

こし

10

(記述題)

11

ア・エ

(完答)

(順不同・完答)

2

1 a

事典

b

意外

c

救急

2

エ

3

A め

B

ケ

C

あ

D

そ

4

I ウ

II

ア

III

エ

IV

才

(完答)

5

ケースワーカー(さん)

6

③ 高校

める

④

世帯

(別解…担当ケースワーカー)

(完答)

7

(記述題)

8

ちゃん

とした

大人

9

ウ

10

(記述題)

1

10

疾病や肥満にならないためにも、自分の体だ
けでなく腸内フローラのことも考えて、毎日
の食事に気を使うべきである。

(同意可)

2

7

あきらめていた大学への進学の可能性を感じられてうれしく
なり、泣きそうになっているということ。

(同意可)

10

将来のことをあきらめていた自分のためにわ
ざわざ勉強し、自分が知らなかった生活保護
制度の例外や裏技を教えてくれた山之内に感
謝する気持ち。

(同意可)

〔配点〕

1 1 各2点×13＝26点
10 1 各6点×3＝18点
その他 2 2 各4点×14＝56点
7 1 3
10 3

1

a 「総計」は全体の数をまとめて計算すること。また、その合計。b 「気候」は「起工」「機構」など、いくつか同音異義語があるので気をつけること。c 「新参」は新しくやってきたという意味。

2 ア「不毛」：一字目が打ち消し。イ「反論」：一字目が二字目を修飾している。ウ「乗車」：二字目が一字目の対象・目的となっている。エ「人造」：一字目が主語、二字目が述語になっている。オ「雑然」：二字目が意味を添える字になっている。カ「名実」：一字目と二字目が対になっている。キ「健康」：一字目と二字目の意味が似ている。

3 Iはあとに問いかけがあるので話題を切り替える「では」が入る。IIは胞胚の形について言いかえて説明しているので「つまり」が入る。IIIは直前の内容と直後の内容が対比になっているので「一方」が入る。

4 「腸はもともと」という言葉を頼りにする。直前の段落に「昔、腸は皮膚と同じく『体の外側』だった」とある。

5 この比喩が述べられている時点で、「実際にはどういことなのか」をイメージしながら読んでおくべきだろう。直前に「一日に三回も」とあるので、一日三回の食事のことだとわかる。あとはそれに該当する部分を結びつけるだけである。

6 一行前に「人々（細菌）」とあるので、細菌であることは明らかである。その上で、四字という字数に合うものをさがす。

7 傍線部を含む一文を読む。「少しの病原性細菌なら：感染しないのは、すでに棲みついている腸内細菌のおかげ」とあるので、これに該当するのはアである。イ・エはこの後に語られる別の見返りである。

8 「面白いことに：」という言い方からも、この⑤を含む文は「この後に話す内容について述べている文」だということがわかる。後続の二段落で述べられている内容は「肥満」に関することである。

9 線⑥を含む段落と直前の段落は「肥満」についての段落であり、さらにその前の段落にさかのぼると、「疾病」についての話がある。「腸内フローラのバランスが崩れると、：：：がんなどを引き起こす」という部分が——線⑥とほぼ同じ内容になっている。

10 本文の最後が「：が大切なのです」という文末になっているので、締めくくりが主張になっていることが見て取れる。基本的には最後の段落を軸にして、「なぜ腸内細菌に気を使うべきなのか」まで明らかにしておくことよいだろう。

11 アは「皮膚1cm平方あたり、1000～1万個の細菌が棲息」「腸内にはなんと100兆個以上」という部分から計算すると「百億倍以上」で正しいと言える。イは下痢について「お上が町すべてを強制排除します」とあり、「警官（免疫細胞）」と「お上」は異なるので違うと言える。ウは「すべての原因」が間違っている。エは肥満についての実験どおりのことを述べているので正しい。

2

1 a 「事典」は事物を表す語をならべて解説している本。言葉の解釈を主とする「辞典」と区別するために生まれた語なので、ここは分けておきたい。b 「意外」は「以外」との区別を確実にしておいてほしい。c 「救急」は「急場の難儀を救うこと」であり、「消火」や「読書」と同じく、下の字が上の字の対象・目的であるので一字目が「救」であると覚えておけば上下の入れかえは防げる。

2 「正しくないもの」である。アベルは片言かもしれないが、筆談でノートに日本語を書いているので「使えない」のではない。

3 Aの「くめかす」というのは名詞や形容動詞の語幹などに付いて、「そのように見せかける」「そのようにする」「それらしく振る舞う」などの意味を持つ。B「ケース」は「場合」。C「あつけにとられ」は「意外なことに出会い、驚きあきれる状態」。D「そっけない」は「思いやりや温かさが無い」という意味だが、ここでは「なんとも思っていないような」というくらいの意味だろう。

4 Iはぎつしり書き込まれた細かい字を見たところなので、めまいがするようすを示す「クラクラ」が入る。IIは疲れや寝不足などで目がはつきりあけられず、しきりにまばたきなどをしているさまを示す「ショボショボ」が入る。IIIは混乱してぼんやりしているさまなので「ポカンと」が入る。IVはよどみなく暗唱しているさまを表す「スラスラと」が入る。

5 「ケースワーカーが言っていたことと、話が違うじゃん」「きみのケースワーカーさんは、まちがったことは言っていない」など、ケースワーカーの言っていた話を元にして樹希は「貯金や進学ができない」と思っていたことがわかる。ちなみに「一語」なので、「若い」などをつけてはいけない。

6 「高校生が、自分の将来のためにアルバイトをしてお金を貯める。それは数年前から、例外として：」というところから「例外」はわかる。続きを読んでいくと山之内が裏技について「きみが今の家族から抜けてしまえばいい」と言い、それを後で「世帯分離」と説明していることからわかる。

7 「鼻の奥がツンとした」というのは泣きそうになっていることを示す典型的な表現である。あくまでこれを説明する問題であることを忘れずに、樹希の気持ちを加えて説明する。「あたし：：：、進学できんのかよ」と自分で言った言葉に泣きそうになったのだから、この涙はあきらめていた夢の実現の可能性を感じた「うれし涙」だと言えるだろう。

8 すぐ後に「看護師に：：：、なれたらなと思ってたんだ」とあるので、「なりたいたいもの」自体は「看護師」であることが明らかなのだが、八字で抜き出すことはできない。そのまま読み進めていくと、看護師になりたいと思うきっかけとなったある看護師について「初めてちゃんとした大人を見た：：：あの人みたく看護師になろう」と言っており、さらに後に「なれるだろうか？：：：『ちゃんとした大人』に、あたしは近づくことができるだろうか」とある。

9 すぐ後の「なれるだろうか？ 実現するのだろうか？」というところから、看護師になれるかもしれないという希望こそが「胸がじんと熱くなっ」ている原因である。それを最もストレートに表しているのがウである。

10 山之内のおかげで、将来に希望が持てたのだから、「感謝」の気持ちがあるだろう。「おまえみたいなやつ」とはどういうやつなのか、山之内がしてくれたことを本文全体からつかもう。